

## ヨコハマ市民まち普請事業

### 第一次提案書

注1) 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。

注2) 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3) 添付資料は位置図、現況写真、活用イメージ図、その他資料、各A4版1ページ、余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	寺家古民家ラボ
現在の主な活動 内容・活動実績	2017年から青葉区寺家町の谷戸田を中心に、2018年からは築150年の古民家も一部活用し、精神障がい者や引きこもり者とともに、子どもから高齢者、多様な障がい者、認知症者など誰もが気軽に参加できる農体験の場を通じて、ケアする／ケアされる側相互が主体となり関わる地域共生コミュニティづくりを模索・実践してきた。
提案場所	青葉区寺家町古民家及び農園（谷戸田等）
提案名 (25字以内)	古民家と里山で農を通じて多様・多世代が繋がる場創り
提案する施設 (どのような施設の提案ですか)	多様な地域住民が集い谷戸田での米作を中心に実践してきたが新たに古民家と里山を加えた地域連携古民家ラボを提案する。 1) <u>“人間らしく生きる”繋がり場の場【制度の枠組を超えた緩やかな繋がりを考える】</u> ：現代社会において、生きづらさや不安を抱えた子どもから高齢の多世代が、本来持つ優しさで、緩やかに繋がり、地域社会で安心して暮らせる場づくり。 2) <u>古民家＋棚田＋里山による農ある暮らしの場【農が人間に与える様々な効用を考える試み】</u> ：古民家・谷戸田・里山を拠点に自然と共生した、米作り／農の手仕事など農ある暮らしが送れる地域ネットワーク拠点づくり。 3) <u>精神障がい／ひきこもり者が主体的に関われる場【一人ひとりが生きる流れを生み出す試み】</u> ：上記リカバリーした者が活動の主体者となることで心病む人はじめ様々な困難のある人の気持ちを理解し合え、前向きに生きる流れを生み出す場づくり。 <u>整備費用の概算額：約500万円</u>
活用イメージ (提案する施設でどのようなことを行いますか)	これまで整備されていない古民家と里山の整備を以下内容で行う。 (下線部が主な整備／調達内容) 1) 古民家再生と繋がり場の場づくり ✓ <u>住民参加型で、土壁塗り、床張替、屋根修理など、古民家の維持・再生を行い、体験を通じて歴史的な意義を共有する。</u> ✓ <u>棚田で育てた米、里山で採れる果樹、山野草などの季節食材を調理・加工するに当たり、それらの伝統食を提供できる場としてキッチン・調理器具の整備／調達。</u> ✓ <u>トイレの増設や、現代社会で必須なツールとしてWiFi環境の整備などを進め、より多様な人が集い活動できる環境をつくる。</u>

	2) 里山の再生／保持、遊べる空間づくり ✓ 果樹園（シャインマスカット、桃など）、だんだん畑づくり、および子どもから大人まで遊べる遊歩道など整備。
提案の背景（なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください）	1) 経済成長／都市化による生活スタイルの変化と共に、かつて日本に存在した「自然と人間の共生」「地域の助け合い」は薄れてきた。更に超高齢化社会、家族関係／共同体的人間関係の希薄化による無縁社会／孤立／孤独死などの問題は今後更に懸念される。 2) 心の病、引きこもり問題も、現代社会が抱える家族・人間同志の関わり方、経済合理性主体の社会構造にも起因している。 3) 米作りの経験を通じ、農は心病む人自らの心を取り戻し、一人ひとりが自分のペースで生きることや、多様な人を繋ぐ場を緩やかに形成するなどの効用が検証された。 上記から、寺家の資源である古民家／里山を拠点とし、農の暮らしの場づくりを再現／実践することを通じて、様々な社会課題の解決に資する新たな地域コミュニティモデルを創り出したい。
目指す地域の将来像（提案を実現することで、どのような地域にしたいたと考えますか）	若い・障がい・引きこもりをはじめ現代社会で様々な生きづらさを抱えた子どもから高齢者の世代を超えて、農ある暮らし、具体的には谷戸田や里山での四季の活動、古民家での集いを通じ、地域で孤立せず緩やかにつながりながら日々の生活が保障される、農を通じた地域の場／支えあいのネットワークモデルを創出する。
整備時の協働（つくるときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください）	1) 古民家：地域住民と障がい者／親族、認知症・要支援高齢者などが、設計士、地域工務店のサポートで、土壁塗、障子貼・屋根・床の張替などを行う。（障害・高齢者団体・家族会と連携） 2) 谷戸田・里山：NPO農に学ぶ環境教育ネットワーク、(有)イズミ農園などの指導のもとで稲作、里山づくりについて指導頂く。
運営時の協働（運営するとき連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください）	NPO法人農に学ぶ環境教育ネットワーク（伝統的な農法で棚田保全と地域連携を実施）、未来の樹・あおば（重症心身障がい児親の会）、横浜市鴨志田地域ケアプラザ、かもマチ食堂（子ども食堂を運営）、鴨志田地域の子供会（その他資料参照）
その他提案について特にPRしたい点を記入してください。	古き良き日本の財産である古民家＋谷戸田＋里山の自然環境で地域と連携しながら、自然と人、人と人が、自ら繋がる場をつくり、福祉／介護制度の枠組みを超えた横断的な地域福祉モデルを新たに構築したい。

注4) 「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

整備場所の地権者等注5) への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
整備場所の地権者	活動の趣旨と本申請の応募に賛同し、応援してくださっている。

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

☑ 中心十字切替

# 位置図

整備拠点：  
古民家/里山：青葉区寺家町5 1 6 番地

1/10000

里山

古民家

熊野神社

四季の家

田んぼ  
(活動拠点)

この地図の著作権は横浜市が保有し

下麻生3

松園

コクピット

すき家

早野

緑GC

鶴見川

ヴェルデの森

寺家ふるさと村

寺家町

ふるさと村テニスクラブ

セブンイレブ

鴨志田中

索引図

横浜上麻生線

青葉台駅

桐蔭横浜大

100m



# 現況写真

## ① 古民家



古民家全景



畳および床板張替必要



屋根裏床張替必要



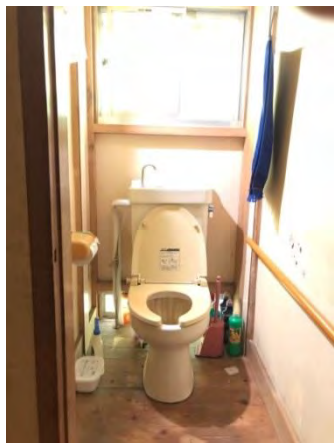
土壁補修が必要



② 里山(古民家に隣接)手入れがなされていない



屋根裏に  
上がる梯子



トイレ:増設が必要(現状一か所のみ)

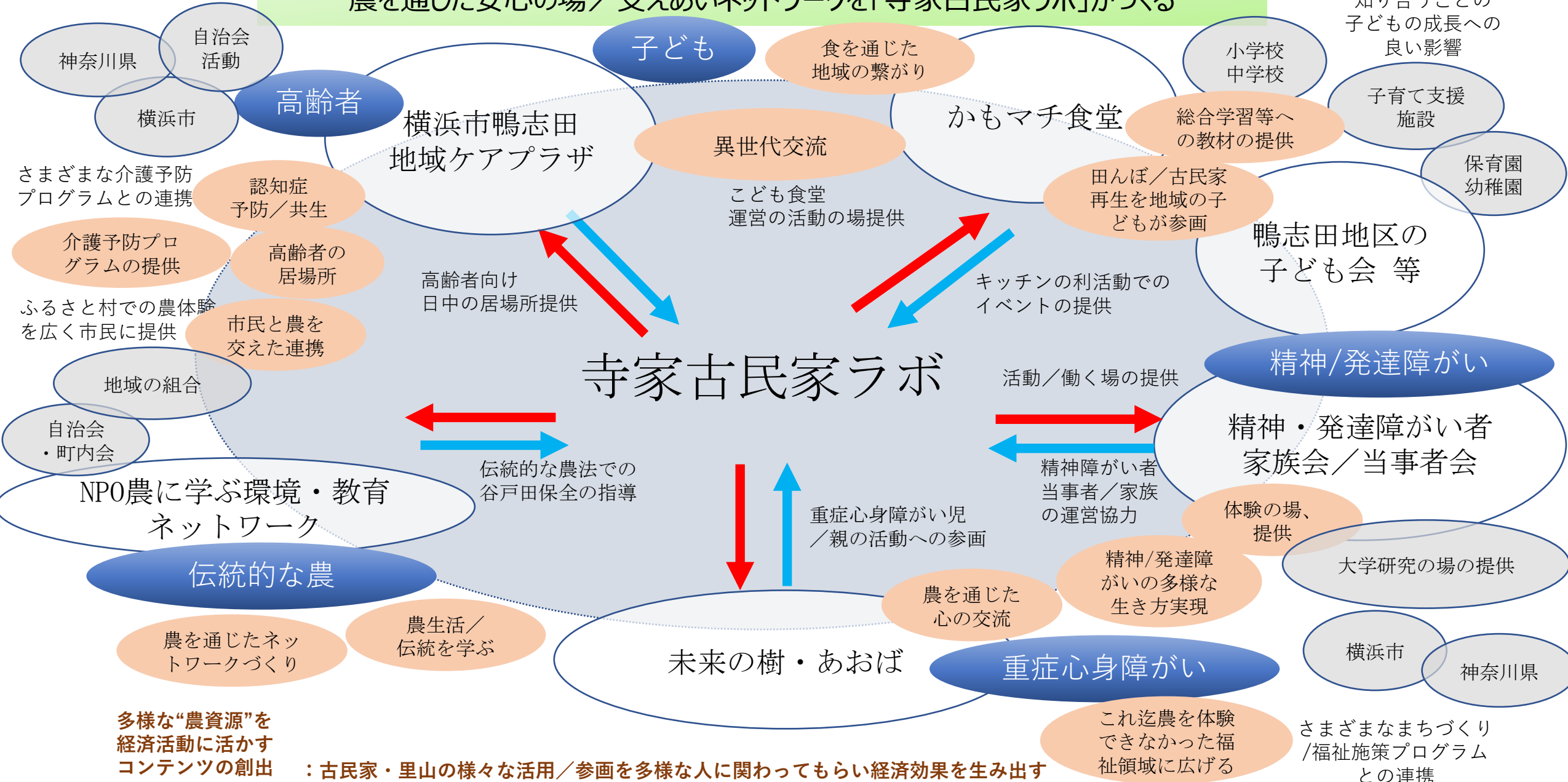


キッチン:全面的改修が必要





地域で孤立せず緩やかにつながりながら安心できる日々の生活が保障される  
農を通じた安心の場／支えあいネットワークを「寺家古民家ラボ」が作る



<古民家および里山の活用イメージ>

多様な場とこころの拠り所を皆で創造する

食で繋がる



“共食”：大家族的つながり  
“個食”：個人のペースで  
食を通して繋がることできる場

古民家



谷戸田

里山

歴史を体感する



例：土壁づくり

稲作/野菜づくりを通じ  
自然と四季を体感する



子ども～高齢者（世代を超え）  
さまざまな障がい、ひきこもり  
現代社会で様々な生きづらさを  
抱えたあらゆるひとたちの集う場づくり

自然の遊びを体感する  
果樹園・だんだん畑の  
企画整備、収穫

